

荻窪病院だより



●病院長 村井 信二

「地域医療支援病院」として かかりつけ医の先生と連携を深め 暮らしやすい街づくりに貢献します

当院は平成29年8月29日付で、東京都より地域医療支援病院に承認されました。

地域医療支援病院とは、医療法で定められた病院機能別区分の一つで、一次医療を担う病院や診療所（以下、「かかりつけ医」という）を支援し、専門外来や入院、救急医療など地域医療の中核を担う体制を備えた病院であるとして、都知事により承認されるものです。

当院はこれまで、急性心筋梗塞や急性大動脈解離をはじめ、緊急吐血、頭部を除く骨折外傷、産科救急などの救急医療において、年間4700件を

超える救急車に対応すると共に、急性期病院として、年間4600件の手術（うち全身麻酔等の手術は2800件）を施行しており、救急だけでなく、がんや心臓病など高度で専門的な医療を総合的に提供する体制づくりに取り組み、地域医療に貢献して参りました。

今回承認されましたのも、地域のみなさまの支えがあつてこそ得られたものと心より感謝申し上げます。

地域の医療機能を 高めるために

みなさまにお願いしたいこと

さて、地域医療支援病院が果たすべき機能のうち、紹介患者への**専門医療**の提供と**救急医療**の提供という2つの大切なミッションがあります。みなさまにとって、身近な地域で完結した医療が受けられる環境を整えるためには、地域の診療所や病院が相互に協力し合いそれぞれの役割を果たす必要があります。

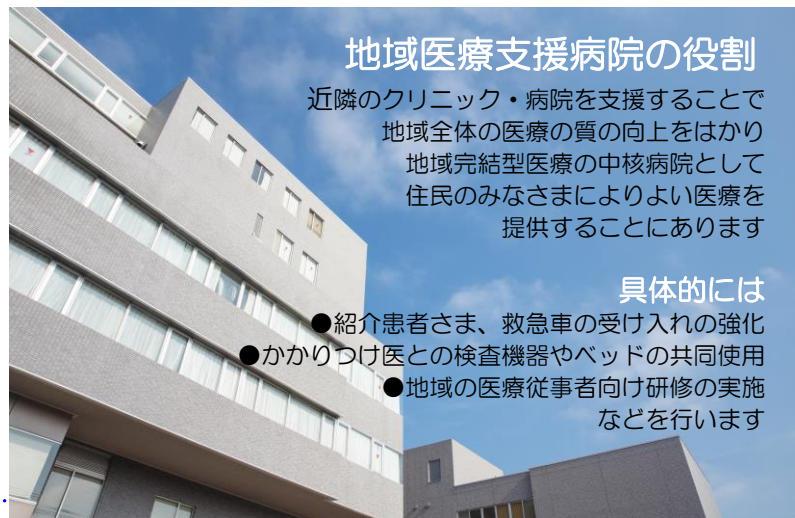
医療は一次・二次・三次医療に分けられ、一次医療は風邪、腹痛、腰

地域医療支援病院の役割

近隣のクリニック・病院を支援することで地域全体の医療の質の向上をはかり地域完結型医療の中核病院として住民のみなさまによりよい医療を提供することにあります

具体的には

- 紹介患者さま、救急車の受け入れの強化
- かかりつけ医との検査機器やベッドの共同使用
- 地域の医療従事者向け研修の実施などを行います



痛など日常的な病気への外来診療が対象で地域の診療所や病院が担います。二次医療は虫垂炎や胃潰瘍など専門性の高い外来医療や入院医療が対象で地域の中核病院が担います。そして三次医療は心筋梗塞など高次医療が対象で救命センターを有するような大学病院がその役割を担います。

荻窪病院は、このうち二次医療と一部の三次医療に対応する役割を担っております。そこで、みなさまにお願いがあります。

←裏へ

荻窪病院は
地域医療に
貢献します

理念

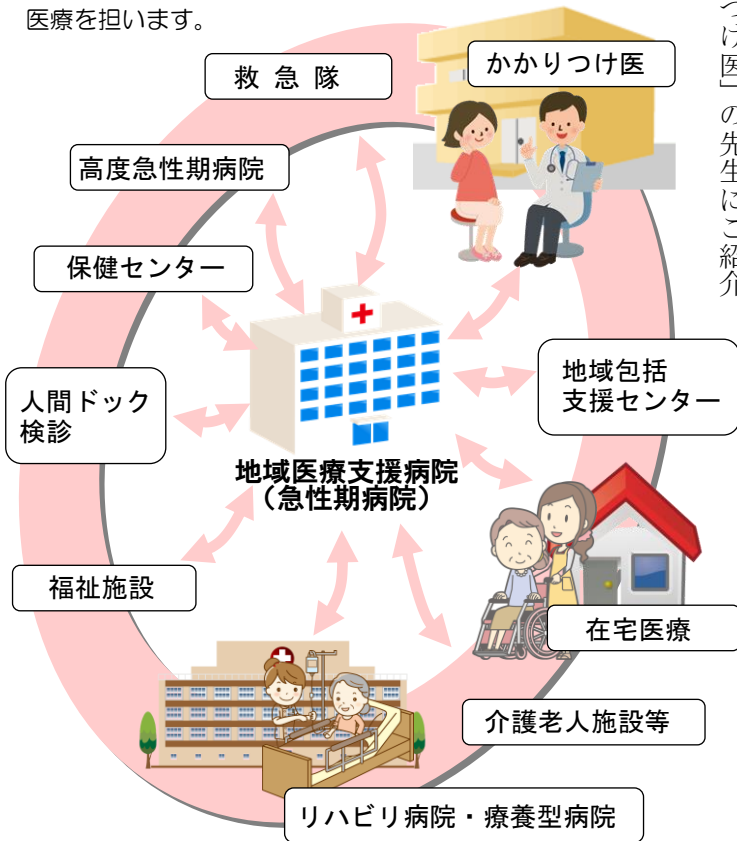
患者さんへ安心で信頼される医療を提供します。
職員へやり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

基本方針

1. 急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
2. 個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
3. 豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。
4. 経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。

今後の社会と地域医療支援病院

患者さんが住み慣れた地域で継続的なケアを受けられるよう、医療・介護の機関がそれぞれの特徴を生かしながら、地域全体で患者さんを支援する社会づくり（＝地域完結型医療）がすすめられています。地域医療支援病院はその中で各機関と連携を取りながら手術や入院を要する専門医療、救急医療を担います。



何か困ったらまずは一番身近な「かかりつけ医」の受診をお願いします。そして、その先生が荻窪病院での診療が必要と判断された場合は、紹介状（診療情報提供書）が手渡されます。これには、患者さんの病状や検査結果などの診療情報が書かれており、情報を共有することで「かかりつけ医」と当院との間で継続的な医療を提供することができま

す。また、病状が安定した場合は、回復期医療を専門とする病院への転院や、「かかりつけ医」の先生にご紹介し、その後の医療を継続して頂きます。このサイクルにより、緊急度の高い患者さんを受け入れる体制を整えることができ、みなさまにとって、身近な地域で完結した医療が受けられる環境に繋がります。みなさまにおかれましては、ご不便をお掛けする点もごさいますが、今後とも患者さんへ安心して信頼される医療が提供できるよう、職員一同、より一層の努力をして参りますので、何卒、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Ogikubo Hospital Topics

感染管理への意識を高める！
手指衛生標語大賞

ICT（感染制御チーム）が主催した「手指衛生標語」の募集に院内や関連施設から111の応募があり、以下の4つが受賞しました。

病院長賞（医事課）
忘れずに 作業の前後 手指衛生

事務部長賞（栄養管理科）
手指衛生 作業の前の
お・や・く・そ・く

看護部長賞（4A病棟）
手指衛生 大切なのは タイミング

ICT大賞（救急外来・内視鏡センター）
アウトブレイクさせないぞ！
気持ちをもひとつに手指衛生！

看護部長賞の標語は、病棟での毎朝の指差し呼称にも採用されました。手指の清潔を保つことは感染防止の基本中の基本。これからもICTを中心に感染管理に努めて参ります。

11月5日（日）
おぎくぼ病院まつり開催



今年も桃井原っぱ公園で行われる「すぎなみフェスタ」（11月4日・5日）に合わせ、11月5日の日曜日に病院内で「おぎくぼ病院まつり」を行います。時間は10時から15時まで。スタッフと一緒にお待ちしています。

9月より看護師の制服が変更になりました。サイドの色は全5色。外来や病棟が明るく感じられます。気持ちも新たに看護に取り組んで参ります。



↑管理職でポーズ。男性看護師の全身紺、全身白の2種の制服も好評です

「おぎくぼ病院まつり」の詳細については10月下旬に病院ホームページに掲載予定です

